

### 事業・イベント

#### <季節のイベント・クラブ活動>

- 普段の遊びの大会（卓球、将棋、カーリング、マンカラ、射的）
- お正月遊びなどの季節にちなんだイベント
- 工作、クッキング、ハンドメイドなどのクラブ活動
- 子どもたちが考え出した創作検定（けん玉検定、30秒ぴったりに検定など）

#### <食の支援・特別開館>

- 夜間開館（18時から20時）を年4回実施
- 子ども食堂と連携した昼食会
- 12時～13時30分は図書室が昼食場所に  
※屋上・ロビー（マット・椅子あり）は終日飲食できます。



ロビーに事業写真が飾られています

### 時間帯別ルール

乳幼児、小中高生と、0～18歳までの幅広い年齢層の児童と保護者が利用しています。時間帯・活動内容により利用者の部屋を分けています。

時間帯	幼児室	遊戯室
～15:30(平日)	乳幼児専用	乳幼児親子専用
15:30～夕焼け放送	乳幼児専用	小中高生専用
夕焼け放送～18:00	乳幼児専用	中高生優先

#### 平日利用状況

1日あたりの利用者数：約70人～80人

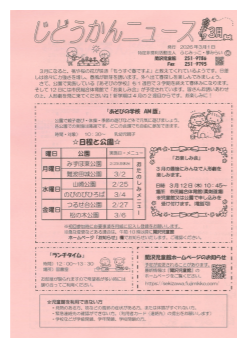
### 職員の方にインタビューしました

諏訪児童館では、「いつでも楽しく遊べる児童館」「行きたくなる児童館」を目指しています。職員が一緒に「関わり遊び」を楽しむことで、親でも先生でもない大人が、子どもたちと信頼関係を徐々に築くことができます。子どもたちの居場所であることで、コミュニケーションが生まれ、相談業務にもつながります。公共施設なので危険なことや児童館のルールを守れない時にはしっかり注意しますが、学校ではないので、指導するのではなく一緒に寄り添うことを心がけている、と話してくださいました。

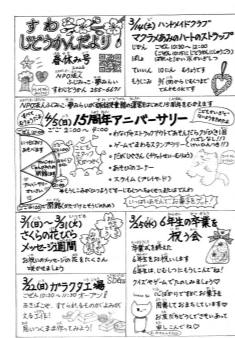
### 安心して過ごせる環境づくり

0～2歳児が一番利用しているということで、清潔感のある各部屋やコーナーが工夫されていました。

- おもちゃの貸し出し返却もわかりやすく整理されています
- 使用したおもちゃは職員が確認・消毒し、次の人が使えるように準備
- 子どもの権利条約も目につく場所に掲示



じどうかんニュース



すわじどうかんだより

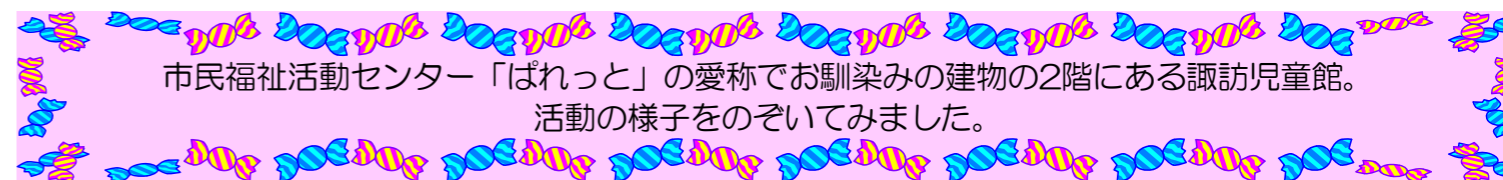
「じどうかんニュース」は毎月発行しています。「すわじどうかんだより」は年4回の発行で、職員が手書きで原稿を書いており、あたたかみを感じられます。おたよりを握りしめて「これがやりたいです」と言って来てくれるのは励みになるとのことです。

### 取材を終えて

子どもたちが主体となって楽しんでいる様子が伺えました。職員さんの細やかな気遣いや目配りがあり、行き届いた環境の中で自主性を育てる、子どもたちの良い居場所になっていると思いました。

<取材担当：伊勢田・小林・若山・本多・黒澤>

# 集まれ児童館！



多目的スペース



小学校の校庭が見渡せます



幼児室



大きなブロックを広げて遊べます

### ピーかぶーをのぞいてみました

「Pee-ka-boo（ピーカブー）」という英語は、日本語で「いないいないばあ」の意味です。毎週木曜日11時15分から乳幼児親子を対象に実施する事業です。職員2人が両手に動物のパペットを付けて「季節の歌」を歌います（この日は、「春がきた」）。手話を取り入れた「お花が笑った」、わらべうたなども。ベビーマッサージ、免疫力を上げる胸腺のリンパマッサージ、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせ（絵本をぐるぐる動かして子どもの興味を引く工夫も！）もあります。



ピーかぶーの様子



### 施設案内

図書室、幼児室（乳幼児限定）、遊戯室、屋上プレイヤードがあります。  
開館日：月曜日～日曜日（第3日曜・子どもの日を除く祝日・12/28～1/3は休館）  
開館時間：10時～18時  
対象：18歳未満の児童とその保護者

### 諏訪児童館の成り立ち

平成16年（2004年）、富士見市に児童活動センターができました。その後、平成23年（2011年）にNPO法人ふじみっこ・夢みらいが指定管理者となりました。令和8年（2026年）に指定管理から15周年を迎えます。

### こども会議って？

異なる学齢の子どもたちが接する中で、自然発生的に生まれた取り組みです。子どもたちが自主的に話し合い、卓球大会などの運営や、けん玉検定、こども新聞の発行、絵本・紙芝居の読み聞かせ、おもちゃの貸し出し・消毒、館内放送、遊戯室の受付などを行っています。また、児童館で過ごしていて危ないと思ったことや気が付いたことを職員に報告してくれます。